問人口の	人口の多いお年寄り専門の部局設置は	「の部局設置は	制は
町長新設せ	新設せず福祉保健課中心の連携で	中心の連携で	社 デ の
お元気なお手寄つの	しないよう今後も環境	70代以上約3割になる。	にめ、
生きがいづくり	づくりに努めたい。	からない現伏にあり、家族は介護方法が分	
間比較的お元気なお年	事前の学習の大切さ	予防、早期相談、介護	寄り
寄りの生きがいづくり		など対策に努める。	内
への新しい施策は。	間介護を必要とする家	間介護や手続きに直面	談
町長若返り学級や健康	庭の現状と課題は。	すると大変な苦労があ	町
づくり、介護予防など	町長介護保険被保険者	る。介護予防や介護法、	切だ
の学習を提供している。	は1895人でうち介	手続きに備え、お年寄	面
お元気な高齢者には、	護認定者は323人、	りや家族の事前の学び	争
豊富な知識や経験を活	認定率17・4%だ。	をもう少し広げること	主責
かしボランティア活動	認知症はその6、7	が必要でないか。	Ş
や地域の支え手も期待	割の方に見られ、介護	町長介護予防に取り組	
したい。高齢者が孤立	する家族も60代約4割、	んでいるが広がりに課	運
		題があるので、今後も	町
A REAL PROPERTY AND A REAL	)	関係課と連携して検討、	ム



やまだひでお 山田日出夫 議員

コロナ禍 なおのことお年寄り に優しい町に

町長ボランティア登録 間ボランティア育成と 地域の見守りは 努力を続けたい。 積極的な活動支援は。 ボランティアの育成

2千万円の補助をして 和5年度中に支援内容 続き、令和2年度から 確保など厳しい経営が 報酬の引き下げ、 金が枯渇するので、令 いるが、数年内に積立 **靜寿園は、国の介護** 町内老人福祉施設の 励議会委託などを進 同齢者生活支援の体 個人37名と団体二つ。 もあり今後の課題だ。 空備に向けた<br />
協議体 日特別養護老人ホー 言課題と支援計画は。 寿園の支援増強と **にが、実践は難しい** 山地域の見守りは大 ムや実践会などと相 い労力」によるお年 取り組んでいく。 26置、生活支援コー こ設けてはどうか。 う見守りの運動を町 ・ネーターの社会福 こ直しなどは町で 少しの思いやり少 引き続き体制整備 人材



町長お年寄りの生活支 署は設置できない。 中心の課係連携で対応 とは承知している。 り、課係を横断するこ 援は多様なニーズがあ し、お年寄り専門の部 今後も福祉保健課を



だれもが歳をとる 介護は他人事ではないかも





般

虘

B

現状から必然では。

を設けることが時代や たる「お年寄り支援課\_